



燃料ポンプのポンプカバーの鋳造加工が不適切なため、ポンプカバー内部の表面がささくれているものがある。そのため、振動等により当該ささくれが剥がれ、燃料を圧送するインペラ（羽根車）とポンプカバーとの間に噛み込み、燃料ポンプが作動しなくなり、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料ポンプ式を良品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席側下部ドアヒンジ下側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。